

保存用

このたびは三菱照明器具をお買い上げいただきましてありがとうございます。

- この製品の性能・機能を十分に発揮させ、また安全を確保するために、据付工事前・ご使用前にこの説明書を必ずお読みください。
- お客さまご自身では据付けしないでください（安全や機能の確保ができません）。
- この製品は日本国内用に設計されていますので、国外では使用できません。また、アフターサービスもできません。

三菱 LED 照明器具

LED 防雨・防湿形シーリング

形名 EL-WC1001N/W AHN EL-WC1001N/K AHN EL-WC1001L/W AHN EL-WC1001L/K AHN
EL-WC1501N/W AHN EL-WC1501N/K AHN EL-WC1501L/W AHN EL-WC1501L/K AHN

取扱説明書・据付工事説明書 販売店・工事店さまへ：この説明書は保守のため、お客さまに必ずお渡しください。
お客さまへ：説明書をお読みになった後は大切に保管し、必要な時にお役立てください。

施工者さまへ

この説明書をよくお読みになり、正しく安全に据付けてください。

安全のために必ず守ること

図記号の意味は次のとおりです。

- 誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、
△ 警告 △ 注意 の表示で区分して説明しています。
表示の意味は表中で説明しています。



警告 誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの				
禁止	引火する危険のある雰囲気を使わない。 (ガソリン・可燃性スプレー・シンナー・ラッカー・可燃性粉じんのある所で使わない。)(火災の原因)	禁止	天井・壁面取付兼用器具です。傾斜がある天井や壁には取付けない。指定方向以外の取付けはしない。 (火災・落下・感電の原因)	
	高温 (35℃を超える)、粉じん、油煙の多い場所、強い振動・衝撃のある場所を使わない。 (落下・感電・火災の原因)		ドアの開閉時に当たる場所には器具を取付けない。 (破損・落下の原因)	
	器具取付けの際は電線を挟まない。 (絶縁不良により感電・火災の原因)		厳守	施工は電気工事士の有資格者が「電気設備の技術基準」・「内線規程」に従う。
	器具に衝撃を加えない。(器具破損によるけがの原因)			電源線接続の際は、指定太さの電源線を指定長さに被覆を剥がし1本ずつ保護チューブを通して電源線差込穴の奥まで差込む。(チューブ取付け忘れは高温になるため感電・火災の原因)(差込み不十分は接触不良により感電・火災の原因)
	配線工事の際、電線の絶縁体にキズをつけない。 (絶縁破壊により感電・火災の原因)			接続が不完全な場合は、接続不良による発熱により火災の原因。アース工事は電気設備の技術基準に従う。 (アース工事が不完全な場合は感電・火災の原因)
取付面に凹凸がある場合は、パテなどで凹凸をなくすか、本体パッキンと取付面の隙間を防水シール剤で埋める。 (不完全な場合は、感電・火災の原因)				

注意 誤った取扱いをしたときに、軽傷または家屋・家財などの損害に結びつくもの				
禁止	サウナなど高温になる場所では使用しない。 (過熱による火災の原因)	禁止	海岸に近い塩害地区には使わない。(早期の錆発生、落下の原因)	
	業務用浴場には使用しない。(絶縁不良による感電の原因)		調光器 (ライトコントローラー) と併用しない。 (火災・感電の原因)	
	軒下などの屋側 (雨線内) で使用できます。それ以外の屋外では使用しない。(感電・火災の原因)		天井裏・壁裏から湿気、水気が浸入する場所では使用しない。(感電・火災の原因)	
	さびの出やすい場所、腐食性ガスが出る場所で使わない。 (劣化による落下の原因)		厳守	電気工事の際は、電源を切る。(感電の原因)
	器具取付面 (クロス貼り・コンクリート) が乾燥不十分な場所に取付けない。(絶縁不良や錆により、感電・落下の原因) 表示された電源電圧以外では使わない。(火災・感電の原因)			グローブを真っ直ぐに取付ける。 (斜め取付け・不完全な取付けは、水気・湿気が入り感電・落下の原因)

お願い

- ・防犯カメラ等を使用する場合は、フリッカー対策仕様のカメラを使用してください。
- ・電源スイッチに片切スイッチを使用する場合、片切スイッチを電源の高圧側に設置してください。200V 電源を使用する場合は両切スイッチを使用してください。消灯時に微発光する場合があります。

- ・周囲温度は 5 ~ 35℃ の範囲でご使用ください。
- ・器具と半導体スイッチ式感センサスイッチを組み合わせるとちらつきや騒音の発生、電源ユニット故障の恐れがあります。接点タイプ感センサスイッチを使用してください。
- ・グローブに入浴剤、殺虫剤、殺菌剤をかけないでください。グローブの割れや劣化の原因となります。

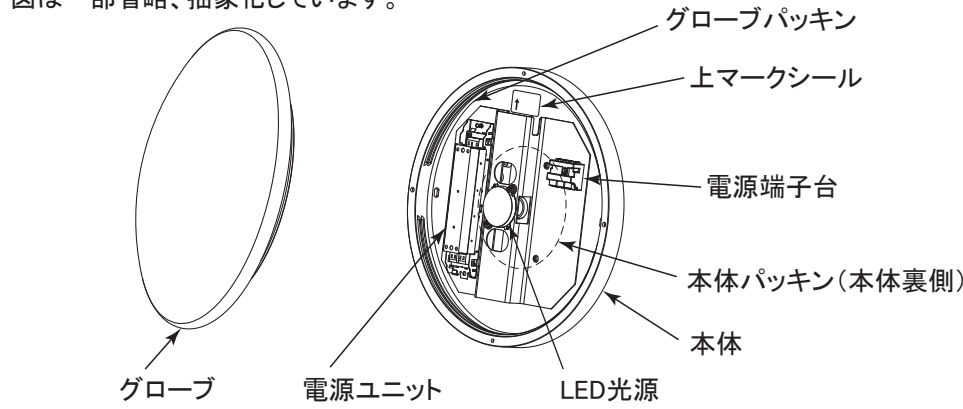
仕様

形名	定格電圧	周波数	入力電流			定格消費電力
			100V	200V	242V	
EL-WC1001N/W、N/K、EL-WC1001L/W、L/K	AC100V-242V	50/60Hz	0.130A	0.065A	0.055A	12.7W
EL-WC1501N/W、N/K、EL-WC1501L/W、L/K	AC100V-242V	50/60Hz	0.165A	0.083A	0.069A	16.1W

警告 器具の取付けは取扱説明書に従い行う(不確実な取付けは、器具落下・感電・火災の原因)

各部のなまえ

図は一部省略、抽象化しています。



【付属品】 木ねじ 2本 絶縁ブッシング 2個 保護チューブ 2本	【取付方法】 (単位:mm) 取付穴 83.5 電源線引込み穴 66.7 電源穴
---	--

据付場所の選定

- ・温泉地など、硫黄成分を含む腐食ガスやオゾンが発生しない場所
- ・一般屋内でも器具周囲に硫黄成分が存在しない場所

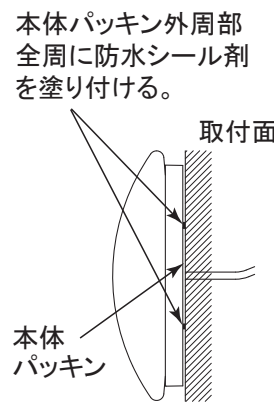
- ・取付面が本体パッキンより大きい場所
- ・油煙のない場所
- ・背面より水のかからない場所、水没しない場所
- ・その他納入仕様書に記載された事項が守られた場所

取付方法

1 取付前の確認

警告

- ・取付面に凹凸がある場合は、パテなどで凹凸をなくすか、本体パッキンと取付面の隙間を防水シリル剤で埋める。(不完全な場合は、感電・火災の原因)
- ・本体パッキン外周部全周に防水シリル剤を塗り付ける。(不完全な場合は、感電・火災の原因)



- ・回転式のためグローブの取付けは、回転範囲を考慮する。
- ・この器具は天井、壁取付けで使用できます。



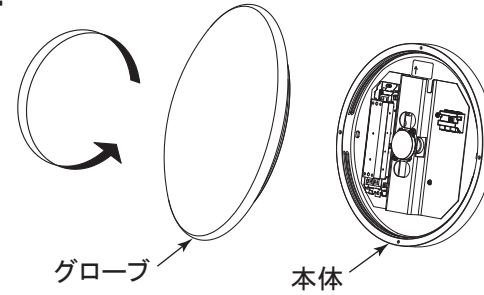
- ・器具質量(1.0kg)に十分耐えるよう、木ねじ取付部の強度を確保する。
- ・器具を取付けるときは、本体パッキンを取付面に密着させる。

警告

器具の取付けは質量に耐える所に取付ける。(落下の原因)

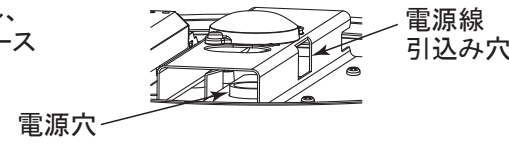
2 グローブを取外す

- (1) グローブを左に回して、本体から取外す。



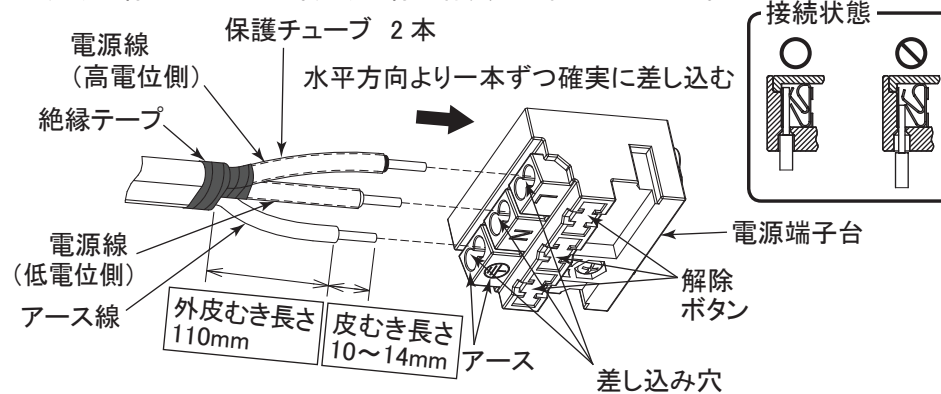
3 電源線・アース線を電源端子台に接続する

- (1) 電源穴に電源線、アース線を通し、電源線引込み穴から電源線、アース線を引き込む。



- (2) 電源線を付属の保護チューブに通し、分岐点に絶縁テープを巻き付け、電源線、アース線を電源端子台の差し込み穴に確実に接続する。

- ・適合電線: φ1.6mm VVF単線 φ2.0mm VVF単線
- ・付属の保護チューブの長さに合わせてシースを剥いて、電源線に保護チューブを取付けてください。
- ・保護チューブの位置ずれ防止のためVVF外皮から絶縁テープを巻き付けてください。
- ・電源線を取り外すときは、幅6mmのマイナスドライバーを解除ボタンにまっすぐ押し込む。
- ・送り配線はできません。送り配線は器具外で行ってください。

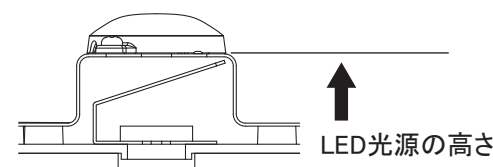


警告

- ・電源線を電源端子台の差し込み穴に確実に差し込む。(接続が不完全な場合は、接続不良による発熱により火災の原因)
- ・適合電線を指定長さに被覆を剥がし1本ずつ保護チューブを通して電源端子台の差し込み穴の奥まで差し込む。(保護チューブの取付忘れは高温になるため感電・火災の原因)(電源線の差込み不十分は接触不良により感電・火災の原因)
- ・保護チューブの位置ずれ防止のため絶縁テープで巻き付けて固定。(固定が不十分な場合、火災・感電の原因)
- ・電源線接続の際は、電源線に張力がかからないこと。(接続不良による発熱で火災の原因)
- ・D種(第3種)接地工事を確実にを行う。(接続不備は感電の原因)
- ・アース工事は電気設備の技術基準に従い行う。(アース工事が不完全な場合は感電・火災の原因)

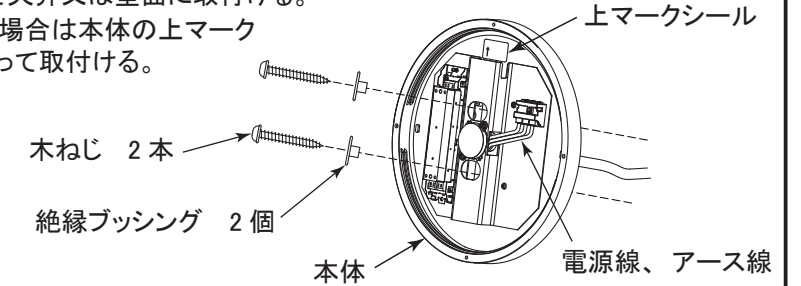
【お願い】

電源線、アース線はLED光源の高さより高くならないようにしてください。グローブに影が発生することがあります。



4 本体を取付ける

- (1) 余った電源線を天井側又は壁側に押し込みながら、本体を付属の絶縁ブッシング、木ねじで天井又は壁面に取付ける。
※壁取付けの場合は本体の上マークシールに従って取付ける。



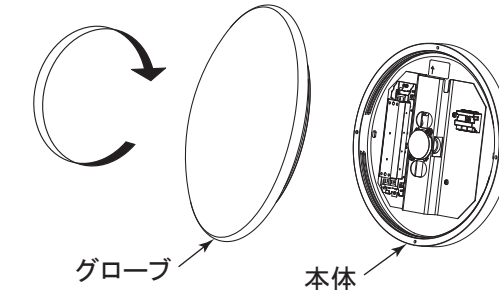
※注意 電源線が余らないように天井内又は壁内に押し込むこと。	OK 電源線	NG 電源線
-----------------------------------	-----------	-----------

警告

- ・指定方向以外の向きに器具を取付けない。(落下・感電・火災の原因)
- ・本体を確実に取付ける。(取付けが不完全な場合落下の原因、水気の浸入により感電の原因)
- ・天井内や壁内に電線などが配線されている場合は、木ねじで電線をキズつけない。(感電・火災の原因)
- ・余った電源線は天井内又は壁内に押し込む。(押し込みが不十分な場合は、感電・火災の原因)

5 グローブを取付ける

- (1) グローブを右に回して、本体にねじ込んで確実に取付ける。



注意

グローブは真っ直ぐに取付ける。(斜め取付け・不完全な取付けは、水気・湿気が入り感電・落下の原因)

試運転

- ・お客様立ち会いで試運転を行ってください。スイッチ ON,OFF などの運転手順、安全を確保するための正しい使い方についてお客様に説明してください。

据付工事後の確認

- ・据付工事が完了しましたら、下表に従ってもう一度点検してください。不具合がありましたら必ず直してください。(機能が発揮できないばかりか、安全性を確保できません。)

チェック内容	チェック欄
電源線・アース線を電源端子台の差し込み穴に確実に差込んでいますか。	

お客様への説明

- ・取扱説明書に従って、正しい使い方をご説明ください。特に「安全のために必ず守ること」の項は、安全に関する重要な注意事項を記載していますので、必ず守るようにご説明ください。
- ・物件などで使用者が不在の場合は、発注者(オーナー・ゼネコン)や管理人などに説明してください。

お客さまへ

この説明書をよくお読みになり、正しく安全に使用してください。



警告

誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの



禁止

お客さま自身で電気工事はしない。電気工事士の資格が必要です。(火災・感電の原因)
器具の改造や指定部品以外の交換はしない。(火災・感電・落下の原因)
器具を布や紙などで覆わない。(可燃物をかぶせて使うと火災の原因)
器具の直下や近くにストーブなどの熱器具を置かない。(過熱して火災の原因)
器具のすき間や放熱穴に金属類を差し込まない。(火災・感電の原因)



禁止

引火する危険のある雰囲気を使わない。(火災の原因)
器具を覆わない、グローブに何も貼り付けない。(過熱による火災の原因)
グローブに塗料などを塗らない。(過熱による火災の原因)



厳守

煙が出たり、変な臭いがしたり、破損したなど異常を感じた場合はすぐに電源を切る。(火災・感電の原因)



注意

誤った取扱いをしたときに、軽傷または家屋・家財などの損害に結びつくもの



禁止

光を直視しない。(長時間直視すると目を痛める原因)
被照射物を約10cm以内に近づけない。(被照射物の変色・変形の原因)



厳守

明るく安全にご使用いただくために半年に1回の保守・点検を行う。(発火・感電・落下の原因)
不具合があったら、そのまま使用しないで工事店または電気店に修理を依頼する。

・照明器具には寿命があります。設置して8～10年経つと、外観に異常がなくても内部の劣化が進行しています。点検・交換をおすすめします。
LED光源は寿命が来ても、暗くなりますが点灯し続けます。点灯出来るからといって継続して使用が可能というわけではありません。

・周囲温度が高い場合・点灯時間が長い場合は寿命が短くなります。
・3年に1回は工事店等の専門家による点検をお受けください。
・点検せずに長期間使用し続けると、まれに、発煙・発火・感電などに至る恐れがあります。

※使用条件は周囲温度30℃、1日10時間点灯、年間3000時間点灯です。(JIS C 8105-1 解説による。)

お手入れ

<器具のお手入れについて>

器具の汚れがひどいときは、柔らかい布を使用量の目安まで水でうすめた台所用中性洗剤につけてよくしぼってから拭きとり、さらに洗剤成分が残らないようによくほった水拭き用の柔らかい布で仕上げてください。

台所用中性洗剤は、原液のまま使用しないとともに、シンナー・ベンジン・みがき粉やたわし・熱湯・アルカリ性洗剤・薬品などは使用しないでください。



警告

・電源を切ってから行う。(感電の原因)
・高圧洗浄機等により、器具を直接洗浄しない。(器具内部に浸水し、絶縁不良による感電や器具腐食の原因)



注意

点灯中及び消灯直後の器具には触らない。(高温のためやけどの原因)

お知らせ

- ・LEDにはバラツキがあるため、同形状の器具でも発光色、明るさが異なる場合があります。予めご了承ください。
- ・LEDの短寿命のおそれがあるため、直射日光が当たる時間帯は点灯しないでください。
- ・LED光源の交換はできません。交換の際は器具ごと交換してください。
- ・壁面や床面等への照射距離が近い時や照射面によっては色ムラが気になる場合があります。ご了承ください。
- ・器具毎に壁面照射部の色見が異なる場合があります。ご了承ください。

故障かな?と思ったら

Q "ピシッピシッ"という音をする。

A 温度変化で部品などが膨張・収縮してこすれる音です。

Q テレビ・ラジオ・マイクなどが誤作動する。雑音が入る。

A 照明器具から離してご使用ください。赤外線リモコン式の機器や無線機器は雑音が入り正常に動かない場合があります。

保証とアフターサービス

・無償修理
照明器具の商品納入日より1年間、また照明器具に内蔵されているLED光源・電源ユニットは3年間です。

・無償提供
LED光源・電源ユニットの故障による不点灯不具合につきましては、代替商品またはLED光源・電源ユニットを5年間無償提供させていただきます。

※保証期間と保証内容についての詳細はカタログを参照ください。

異常時の処置



警告

煙が出たり、変な臭いがしたり、破損したなど異常を感じた場合はすぐに電源を切る。(火災・感電の原因)
煙が出なくなるのを確認して、工事店または下記連絡先にご相談ください。

取扱い・修理のご相談は、まず
お買い上げの販売店・施工者・設備業者へ

三菱電機株式会社
三菱電機照明株式会社

〒247-0056 神奈川県鎌倉市大船 2-14-40

お買い上げの販売店等にご依頼できない場合は、ご相談窓口へお問い合わせください。

ご相談窓口 照明技術相談センター

フリーダイヤル
0120-348-027 (無料)

受付時間 9時～17時(土・日・祝日は除く)
FAX (0467) 46-8861